



倫理規範



目次

03

ブライアンからのメッセージ	3
---------------	---

04

コグニザントの信条	4
-----------	---

05

倫理規範に従う方法	5
-----------	---

06

原則1:

信頼を得る	6
腐敗行為の防止	6
利益相反の回避と管理	8
政治活動やロビー活動への参加	8

11

原則2:

正しいことを適切な方法で実行する	11
公正かつ正直な競争	11
競争法を遵守する	11
道徳的な販売、マーケティング、デリバリーを行う	11
国際貿易の尊重	12
マネーロンダリングの禁止	12

13

原則3:

人と環境を大切に作る	13
人権の尊重	13
環境責任への取り組み	13
自分と他者の健康と安全を守る	13
人々を公正に扱い、差別とハラスメントを禁止する	14
人々を公正に扱い、差別とハラスメントを禁止する	14

15

原則4:

私たちは責任を果たす	15
プライバシーと機密性を尊重し、データの安全性を維持する	15
会社とクライアントの資産を保護する	15
専門的かつ正確なコミュニケーション	16
インサイダー取引の禁止	16
優れた財務スチュワードシップの実践	16
責任をもって記録を管理する	17

18

その他の考慮事項

的確な判断力	18
政府の調査	18
本規範の免除	18

19

ヘルプを得る、または懸念の報告	19
コグニザントの倫理&コンプライアンス・ヘルプラインへのアクセス	20

Raviからのメッセージ

コグニザントの倫理コンプライアンスBe.Cognizantページ

★コグニザントのグローバル

★コーポレートポリシー



コグニザントの皆さんへ

日々の業務において、私たちが正直、倫理的、そして原則に基づいた行動をする機会をふんだんにあります。クライアント、見込み客、パートナー、そして同僚と交流するたびに、私たちは会社の特質を自身の行動で表現します。簡単に言えば、コグニザントのグローバルな評判は私たちの手に委ねられています。誠実さ、倫理的行動、合法性という私たちの価値観に忠実であることは非常に重要です。

誠実さを重視する私たちの文化は、根強く強力である一方、その評判は些細な過失で損なわれる可能性があります。したがって、私たちは倫理とコンプライアンスの企業風土を維持するため常に注意する必要があります。当社の倫理規範は、そのための一助となるよう作成されました。

この規範は、当社のビジョン、目的、および価値とともに、ビジネスを正しい方法で行うためのガイドとなります。私たちは、事業を行う国で適用される全ての法律に従います。私たちは手を抜いたり、ルールを曲げたりしません。私たちはお互い敬意をもって接します。私たちは、誠意をもって報告する者に対する報復から会社が私たちを保護することを知っているため、不正行為の疑いがある場合はもれなく報告します。つまり、私たちにとって高いパフォーマンスと高い信頼性は不可分の関係にあります。

明確な価値観、倫理、基準に沿って生活することは、クライアントの信頼を得て維持することであり、それが競争上の優位性を生み出し、成長に貢献し、ブランドを強化します。

誠実に行動することが常に私たちの企業風土のコアであるよう、ともに力を合わせて働きましょう。

Ravi Kumar S

最高経営責任者

4つの原則:

私たちの働き方が私たちを形作ります。

1. 信頼を得る。

私たちは、信頼できるビジネスパートナー、そして企業市民であり続けるように常に努力しています。この目標を達成するために、倫理的基準を日常の業務活動に一貫して組み入れなければなりません。

2. 正しいことを適切な方法で実行する。

当社の顧客、株主、およびコミュニティは、最高水準の商業道徳を実践しようとする当社の取り組みに依拠しています。

3. 人と環境を大切にする。

私たちは安全で健康的な職場環境に取り組んでいます。

4. 私たちは責任を果たす。

ビジネスを倫理的に遂行するという私たちの取り組みには、プライバシーの尊重、情報の保護、資産の保護が含まれます。

コグニザントの信条

近代的なビジネスをつくり出し、日常生活を改善する。これが私たちの目的であり、その方法は今まで以上に重要になっています。

私たちの目的の中心にあるのは、クライアントのビジネスだけでなく、業界のリーダーとしての運営方法を改善したいという願望です。市場で差別化を図る方法のひとつは、最高水準の整合性を維持することです。私たちの評判と成功はそれに依存していますが、それだけではありません。私たちは、職場、開発センター、クライアントと立ち会う現場、事業所、または日常生活などのあらゆる場面において、商業道徳のロールモデルとして行動しなくてはなりません。

倫理規範(「規範」)を作成した目的は、皆さんがコグニザントで行う全ての言動を当社の誠実さの基準に照らして行えるよう支援することです。この規範の原則、および関連する倫理コンプライアンスプログラムは、コグニザントの取締役会によって承認され、全面的にサポートされています。取締役会と経営陣は、倫理およびコンプライアンスプログラムとこの規範の遵守を監督する責任を負います。

社員および関係者の皆さんは、コグニザントの商業道徳という企業風土を維持していく責任があります。

本規範は、世界各地におけるコグニザントの取締役、役員、従業員、事業部門、子会社、コグニザントが経営上の支配権を持つジョイントベンチャーの全てに適用されます(以下、総称して「社員および関係者」といいます)。

コグニザントの従業員には、以下が求められます。

- あらゆる事業活動においてコグニザントの商業道德に関する基本理念を維持する。
- 行動規範、ポリシー、方針、および手順を理解し、それに従う。
- 当社が事業を展開する全ての国で適用される法律、規則、および規制に従う。
- 規範の違反行為の疑いは報復の恐れなく全て報告する。

倫理規範に従う方法

従業員がしなければならないこと

全ての従業員は、当社の商業道德を守る責任があります。これはなすべき正しいことであるばかりではなく、責任ある企業市民であろうとする当社の取り組みの重要な一部をなすものです。

理解する

- コグニザントの倫理規範をよく読み、理解し、遵守する。
- 自身の日常業務に関連する部分の倫理規範、方針、手順の内容を熟知する。

注意すべきこと

- 配属部署におけるコグニザントの法遵守や評判に影響を及ぼすような進展に注意を払い対処する。

緊張感を持つ

- コグニザントの倫理規範、方針、手順、または法律の違反行為の疑いを発見したら報告する。
- コグニザントが倫理規範、方針、手順に関する調査を行う場合には協力する。

誓約する

- コグニザントのコンプライアンス研修コースを適時に修了する。
- コグニザントの規範の原則を遵守するという宣誓書を毎年提出する。

管理職がしなければならないこと

管理職は、社員および関係者が明確に自身の義務を理解し、報復の恐れなしに安心して違反行為の疑いを報告できるようなコンプライアンス体制を構築する責任を負います。

教育

- 社員および関係者に、業績結果が道徳的な行動や倫理規範の遵守よりも重要であってはならないことを確実に理解させる。
- 報復を恐れることなしに法律や規範、方針、または手順の違反行為の疑いについて、いつでも報告できることを社員および関係者に周知徹底する。

先導

- 個人レベルでコンプライアンスに取り組むことにより倫理観、商業道德、法遵守の精神を養う。
- 適切な機会があるごとにコンプライアンスの重要性を伝える。
- 誠意をもって報告を行った者に対して報復してはならず、報復を容認してはならない。

伝達

- 規範、方針、手順、または法律の違反行為の疑いについて報告を受けた場合、直ちに最高倫理&コンプライアンス責任者に通知する。

原則1:

信頼を得る

コグニザントは、信頼できるビジネスパートナーおよび企業市民であるように常に努力しています。この目標を達成するために、倫理的基準を日常の業務活動に一貫して組み入れなければなりません。

腐敗行為の防止

私たちは賄賂の授受を行いません。 ビジネスを獲得する、またはコグニザントの事業との関連で何らかの便宜を確保する目的で、賄賂を含む価値あるものを決して承認、申し出、約束または提供しないでください。賄賂、リベートまたはその他の不適切な利益を要求または受領しないでください。

私たちはファシリテーションペイメントを行いません。 法務顧問の書面による承認がない限り、行政サービスに係る手続きの円滑化を促進するための支払いを行わないでください。

私たちは常に正確な事業活動の記録を行っています。 真実かつ正確なタイムシート、出張経費報告書、財務諸表、顧客への請求書、その他の記録文書を提出してください。当社の帳簿や記録における取引の誤表示や不当表示を行ったり、定められた方針や統制を回避したりしてはなりません。会社の帳簿・記録には、いかに少額であっても、全ての商取引を正確に反映させる必要があります。

コグニザントは当社の方針を「回避しようとする」第三者を採用しません。 私たちに代わって不適切な支払いをしたり、会社の方針の下でできないことをするために第三者を雇ってはなりません。



重要な定義

賄賂とは、意思決定に不適切な影響を及ぼす、または、不正な事業上の便宜を得るための支払いや価値あるものの提供または申し出を指します。

価値あるものには、現金、賞与、贈答、待遇、慈善寄付、政治献金、雇用の提供、饗応／接待、リベート、その他の優遇措置などが含まれます。

ファシリテーションペイメントとは通常、行政サービスに係る手続きの円滑化を目的とした、低い地位の政府関係者への少額の支払いを指します。

政府関係者とは、政府機関の職員または役員を含む、政府機関を代表して、または政府機関のために公的立場で行動する個人全てを指します。

政府機関とは、次の全てを指します。

- 政府または行政部門
- そのような政府や組織の部署、機関もしくは代行機関
- 政党
- 上記のいずれかが(全部であるか一部であるかを問わず)所有または管理する会社または事業体、あるいは上記のいずれかを代表する会社または事業体



純粋な感謝の気持ち?

私は、クライアントにコグニザントへの忠誠心に対する感謝を表す贈り物を与えるつもりです。私は彼に子供がいることを知っているので、子供の数分のXboxを購入する予定です。この商品は今とても人気があります!このクライアントはプラチナアカウントなので、この贈り物は適切だと思われるのですが、どうでしょうか?

いいえ、それは適切ではありません。

コグニザントには、贈り物、接待、饗応の提供を規定する特定の原則があります。この提案された贈り物は、それらの原則と矛盾します。贈り物を授受する前に、常に贈答品および接待の手順を確認して従ってください。法的に許可されている場合でも、クライアントまたはその親族に高価な贈り物や接待を提供すると、不適切な影響を与える可能性があります。

私たちの要求は厳しすぎますか?

私たちのチームは、今年後半に始まるイニシアチブに関連して、新しいベンダーを検討しています。評価プロセスの一環として、私はベンダーに、腐敗防止法の遵守、腐敗防止トレーニングの完了、およびコグニザントに代わって政府関係者と接する可能性のあるサブベンダーに対する腐敗防止ディリジェンスの実施を含む、契約の詳細な腐敗防止規定を遵守することに同意するかどうかを尋ねました。ベンダーは態度を明らかにしませんでした。私はベンダーに対して多くを期待しすぎですか?

法務または倫理&コンプライアンス部が何らかの理由でベンダーを高リスクであると見なす場合、**あなたにはそのリスクを管理するために適切な統制が設定されていることを確認する義務があります。**この場合、ベンダーが腐敗防止の観点から高リスクと見なされている場合、法務または倫理&コンプライアンス部によって定められた要件(解約権などの関連する被害管理を伴う契約条項を含む)を遵守する必要があります。

あなたは決して相手に多くを要求しているわけではありません。

そして、ベンダーが遵守に同意しない限り採用するべきではありません。

マネージャーの承認は許可されますか?

あるクライアントがコグニザントに、毎年主催するゴルフトーナメントで4,000米ドルのシルバーレベルのスポンサーにならないかと打診してきました。スポンサーシップには、イベントの広告/プログラムに当社のロゴを表示すること、イベント開催中に当社の看板を設置すること、およびフォーサム2組とプロモーション用アイテムが含まれます。利用可能な資金がある場合、参加の決定は私のマネージャーが行うことができますか?

いいえ。マネージャーの承認に加えて、**アクティビティの性質に応じた他のレビューが必要です。**収益を慈善団体に寄付する慈善行事としてゴルフトーナメントが開催される場合は、グローバル慈善寄付方針に従う必要があります。ゴルフトーナメントが慈善イベントではない場合は、グローバルイベント申請ポリシーに従う必要があります。要件とレビュープロセスの詳細については、グローバルイベントページを参照してください。

また、スポンサーシップの実施が承認されている場合で、コグニザント社外の人(フォーサム2組の一部として)ゴルフをするように招待された、または参加費を支払った者だけが受け取る他の価値あるものがある場合、贈答品および接待の手順に定められた要件に留意する必要があります。

利益相反の回避と管理

私たちはコグニザントの最善の利益のためにのみ事業を行います。コグニザントの利益より自身の利益を優先することは、禁じられた利益相反の原因となります。個人的関係や、判断を左右するような個人的/金銭的な利害関係に基づいて事業を行ってはなりません。同様に、個人的な利益を得るためにコグニザントとの関係を使用してはなりません。潜在的な利益相反は、次の場合に発生する可能性があります。

- 副業と役員就任
- 金融投資および資金調達
- 親密な個人的関係
- 政府の役割
- 事業機会
- 贈答品および接待

コグニザントは、社員および関係者が利益相反を引き起こすことが合理的に予想されるあらゆる状況を開示することを要求しています。利益相反を引き起こす可能性のある状況、または他者が利益相反として合理的に認識する可能性のある状況があると思われる場合、当社の利益相反ポリシーの規定に従って上司またはコグニザントの最高倫理&コンプライアンス責任者に報告する必要があります。

あなたが経営役員会のメンバー、執行役または取締役である場合は、コグニザントの法務顧問に報告書を提出する必要があります。報告を受けた法務顧問は、必要に応じて取締役会の監査委員会の委員長と話し合います。コグニザントの最高倫理&コンプライアンス責任者または法律顧問は、必要に応じて、あなたと協力して利益相反が存在するかを判断し、存在する場合はどのように対処するのが最善かを判断します。執行役員または取締役会メンバーが関与し利益相反を引き起こす可能性のある全ての取引は、監査委員会に照会され承認される必要があります。

贈答品および接待の授受は、必要に応じて、特定の状況下でのみ行われます。適用される会社の方針に厳密に従って贈答品や接待を授受することは、社員および関係者全員の義務です。原則として、ビジネス上の決定に不適切に影響を与える、またはそのようにみなされるような贈答品または接待の授受は禁止されています。クライアントとの関係構築をサポートするための、オープンで透明性のある方法で提供される合理的な(豪華ではない)贈答品および接待の提供は許容できますが、適用法令を遵守し、不適切とみなされないように注意する必要があります。当社の贈答品および接待の手順には、許容される贈答品や接待に関するガイダンスおよび特定の贈答品や接待に必要とされる承認の条件などが定められています。

政治活動やロビー活動への参加

社員および関係者は政治的活動に参加することができませんが、ただし、そのような活動が当社のためではなくあくまでも個人的なものであること、勤務時間内に行わないことを条件とします。政治活動のための会社の施設やリソースの使用は、当社の政府関連業務部による事前の承認がある場合のみ許可されます。同様に、コグニザントの政府関連業務部によって書面で明示的に承認されていない限り、候補者に政治献金をしたり、コグニザントに代わって政府にロビー活動を行うことは許可されません。

注意事項

利益相反が発生した場合でも、直ちにコグニザントの倫理規範に違反することにはなりません。ただし、利益相反について速やかに開示しない場合には違反とみなされます。多くの場合、報告が行われた利益相反は回避するか容易に解決することが可能です。

利益相反を引き起こす可能性のあるアクティビティを開示して承認を求めることにより、会社はその承認と同意された統制を文書化して、利益相反が会社に与える影響を軽減することができます。



原則1: 信頼を得る

質疑応答

友達に依頼することの是非

私は新しいベンダーを選択するチームの一員であり、私の義理の兄弟は検討している会社のひとつで働いています。事実とデータを見ると、彼の会社は素晴らしい仕事をしており、この会社を選ぶことが正しい選択だと思われます。コグニザントにとって最善の方法だと思うので、彼の会社を推薦してもよいでしょうか？

会社を推薦することはできますが、あなたとの関係を上司に知らせて、意思決定プロセスから外れてください。これは、不公正または不適切な行為の疑いが発生しないようにするための最良の方法です。

副業について

コグニザントと競合しない、またはコグニザントと同様のサービスを提供していない新興企業でパートタイムの仕事をするを検討しています。私が彼らのためにやろうとしている仕事は、コグニザントでの私の仕事とは異なるので、それは問題ではありませんよね？

開示、開示、開示！

限られた例外を除いて、全ての社外の役割と利害関係はコグニザントの倫理&コンプライアンスポータルで開示する必要があります。コグニザントの利益相反ポリシーを参照して、利益相反の原則について学んでください。質問がある場合は、[倫理&コンプライアンス・ヘルプライン](#)「質問する」をクリックします。

原則1:信頼を得る

重要なポイント

- 腐敗行為の防止
- 腐敗行為や不道德な行為の疑いを発見した場合、確信を持ってなくても常に報告を行います。
- コグニザントの利益より自身の利益を優先することは、禁じられた利益相反の原因となります。
- 利益相反について何らかの懸念がある場合には直ちに報告を行ってください。
- 従業員の政治プロセスへ関与は、会社を代表してではなく、個人の立場でのみ行われるべきです。

もっと詳しく知る

- [腐敗防止に関する方針](#)
- [腐敗防止に関する方針](#)
- [贈答品と接待に関する手順](#)
- [グローバル慈善寄付方針](#)
- [第三者の選定と維持のための腐敗行為防止コンプライアンスの手順](#)
- [米国における政治的活動と政府関係者への贈答コンプライアンス方針](#)
- [米国の公共部門との事業活動に関する方針](#)

競争優位性の追求

業務の一環として、私はクライアントのイントラネットにアクセスできます。私は当社がクライアントとの取引を増やしようとしていることを知っており、イントラネットで入札チームに役立つと思われる情報を見つけました。機密扱いとされておらずアクセスできますので、共有しても大丈夫ですか？

いいえ、共有することはできません。また、自分の役割の一部でない限り、この情報を閲覧してはなりません。顧客のシステムにアクセスして、適切な権限なく閲覧可能になっている競合情報やその他の情報を検索してはなりません。クライアントがシステムや内部情報へのアクセスを提供する場合、その信頼を尊重し、常に誠実さをもって倫理的に行動する必要があります。利用可能な情報が制限あるいは保護されていない、または機密扱いとして明示されていない場合でも、情報の商業的機密性を考慮し、承認なしに当社の利益のために使用しないでください。私たちは、誠実さ、評判、または基準について妥協すべきではありません。近道、手抜き、非倫理的または疑わしい慣行をしてはなりません。それは私たちがビジネスで勝ちたいと思っている方法ではありません。私たちがコグニザントに望むのは、ビジネスを正しい方法、つまり誠実さをもって当社の人材および商業倫理の強みのみで勝つことです。

原則2:正しいことを適切な方法で実行する

正しいことを適切な方法で実行する

当社の顧客、株主、およびコミュニティは、最高水準の商業道徳を実践しようとする当社の取り組みに依拠しています。

公正かつ正直な競争

コグニザントは競合他社の秘密情報についても配慮しています。市場において公正に競争するためには、競合他社の秘密情報を当社の秘密情報と同じように尊重しなくてはなりません。だましたり虚偽の説明を行ったりすることなしに、常に合法的かつ倫理的な方法によってのみ競合他社の情報を収集します。例えば、顧客のシステムにアクセスして適切な権限なく閲覧可能になっている競合他社の提案内容やその他の情報を検索してはなりません。同様に、当社において禁じられていることを行わせるために第三者を利用してはなりません。

競争法を遵守する

コグニザントは事業を営む国の反トラスト法や競争法を遵守します。価格固定や市場割当など、競争を制限または規制するような競合他社との契約、協定、計画に決して関与してはなりません。サービスの料金やビジネス戦略について競合他社と話し合ってはなりません。

道徳的な販売、マーケティング、デリバリーを行う

コグニザントは道徳的な販売・マーケティングの手法を採用します。機密情報の悪用、事実の操作、隠蔽、不実表示、またはその他の不公正な取引慣行によって、潜在的または既存のクライアント、ベンダー、競合他社に対する不当な優位性を求めてはなりません。口頭または書面による販促資料、プレゼンテーション資料、あるいはスライド資料を使って当社のサービスを伝達する際、その内容は常に正確でなければなりません。

RFPに関するジレンマ

私は、ある顧客のRFPに取り組んでいます。この顧客は、禁輸対象国であると考えられる国を含む世界中の顧客の拠点におけるオンサイトサポートをコグニザントに求めています。また、このプロジェクトでは、コグニザントがライセンスを取得してソフトウェアのコピーを顧客の世界中の拠点に送信する必要があり、コグニザントが関連当局から輸出免許を取得することを要求する輸出コンプライアンス条項が含まれています。RFPへの対応を続行できますか？

先に進む前に、コグニザントのグローバル貿易管理（「GTC」）チームと法務部に相談する必要があります。まず、コグニザントは禁輸国や制裁対象者との取引を禁止しています。RFPではそれらの国のいくつかを特定した可能性があると思います。GTCは、コグニザントが関係国でオンサイトサポートを提供できるかどうかを判断する必要があります。次に、RFPはコグニザントにソフトウェアを送信するための輸出および輸入義務を負うことを要求しているように見受けられます。このような活動には、適用される法律を遵守するためにGTCの支援が必要です。

国際貿易の尊重

私たちは全ての国際貿易規制に従います。業務を行う場所がどこであれ、禁輸、経済制裁、輸出規制、輸入要件、反ボイコットに関する法律と規制を遵守しなくてはなりません。コグニザントは、特定の国や関係者との直接または間接的なビジネスまたはサポートを禁止しています。これらの法律や規制は、当社のビジネスの多くの側面に適用されます。例えば、技術移転、ソフトウェアへのアクセス、技術データ文書を持参した海外出張、米国訪問中に外国人（米国内で働きながら輸出規制されたソフトウェア、データ、または技術にアクセスできる外国籍の者を含む）と管理情報を共有することが対象となります。

マネーロンダリングの禁止

私たちはマネーロンダリングに関与しません。私たちは、正当かつ合法的な資金源から発生した資金により正当な事業活動を営む信頼できるクライアントのみと取引を行います。決して、犯罪収益の取得、使用、換金、隠蔽、または保有に関与したり、他の当事者がそのような行為に従事するよう手を貸したりしてはなりません。

重要なポイント

- 道徳的な競争を行う。
- 競争や通商に関する法律や規則は全て遵守する。
- あなたのクライアントを知り、合法的な資金源から得られた資金で合法的なビジネス活動に従事している評判の良いクライアントとのみビジネスを行ってください。

もっと詳しく知る

- [財務スチュワードシップ方針](#)
- [マネーロンダリング防止手順](#)
- [世界貿易コンプライアンス方針](#)
- [知的財産に関する方針](#)

原則3:

人と環境を大切にす

私たちは安全で健康的な職場環境に取り組んでいます。

人権の尊重

コグニザントは世界各地で展開する事業において人権の保護に努めています。コグニザントで働く者は皆、差別、ハラスメント、報復のない職場環境、および現地の法律に基づく公平な賃金と時間で働く権利を持ちます。

コグニザントは人身売買を一切容認しません。私たちは児童労働や強制労働を利用せず、そのような慣行に従事している第三者とは協力しません。人身売買について知った場合、私たちはそのような事案を直ちに警察に報告します。

環境責任への取り組み

私たちは、環境に配慮した方法で事業を行うことを約束します。環境フットプリントの削減に貢献し、世界に与える当社の影響がポジティブなものであることを確実にするよう持続可能な取り組みを実践しています。業務を行う国で適用されている環境に関する法律、規制、基準を常に遵守してください。

自分と他者の健康と安全を守る

コグニザントは安全な職場環境を提供しています。全ての業務活動は、必要な許可、承認、および統制に基づき行われなくてはなりません。健康と安全に関する何らかの問題を発見した場合は、上司に報告してください。

私たちは、職場での暴力、暴力を振るうとの脅し、脅迫、いじめ、虐待、または身体的な報復を容認しません。こうした行動の犠牲者または目撃者となった場合、直ちに上司に報告してください。

コグニザントは薬物やアルコールを摂取した状態で勤務することを容認しません。当社の敷地内にいる間、あるいは、当社の業務を行っている間、違法薬物の使用、販売、購入、所有、あるいはアルコールや処方薬の乱用といった行為は当社の方針において固く禁じられています。同僚の行動がアルコールや薬物の影響下にあると思われる場合、あるいは職場で禁じられた物質を使用している場合、上司に報告してください。



注意事項:

暴力、脅迫、暴力を振るうとの脅し、虐待、身体的な報復、その他の脅迫的な行為を目撃するか、自身がその犠牲者である場合、直ちに上司に報告してください。

敵対的な労働環境

上司は、私や他の女性チームメンバー数人を、外見や知性について言葉で侮辱し、めったに仕事の機会を与えません。その一方で、彼女は常に男性チームメンバーを褒め、優遇しています。私は問題を告発したいと思いますが、上司に感付かれるのではないかと恐れています。私はただ黙っているべきですか？

いいえ、それは間違いです！この種の行動は不適切であり、ハラスメントとみなされます。いかなる状況にあっても、コグニザントの社員および関係者は、侮蔑的、虐待的、あるいは性的なコメントを述べるべきではありません。職場のハラスメントを含む、倫理違反の疑いまたは実際の違反を報告することに対する報復は厳格に禁止されており、懸念を提起したためにマネージャーがあなたに対して敵対的な行動を起こした場合、コグニザントはあなたを保護します。

人々を公正に扱い、差別とハラスメントを禁止する

当社では採用判断を実力に基づいて行います。公正さと尊敬をもって他人に接し、各々の個人的な貢献を評価します。求人、雇用、研修、昇格、解雇、その他の雇用条件を決定する際に、人種、肌の色、宗教、性的自認、年齢、国籍、性的指向、婚姻区分、障害、軍隊経験などの法律上保護されている特性に基づく差別を行うことは禁じられています。差別やハラスメントを含め、雇用機会均等に関する適用法を全て遵守しなくてはなりません。

いかなる差別行為、権限乱用、セクシュアルハラスメントその他のハラスメントも容認してはなりません。また各国の法律で保護されている他人の特性について、冗談、中傷その他の否定的な発言をすることは、性的な内容のものを含め、避けなくてはなりません。いかなる場合においても、業務を行う場所（コグニザントや顧客のオフィスなど）または業務関連の活動やイベントを行う場所（レストラン、ホテル、カンファレンスセンターなど）を問わず、攻撃的、暴力的、差別的、虐待的または敵対的な環境を容認、奨励、または作り出してはなりません。

もっと詳しく知る

- [ハラスメント、差別および職場でのいじめ防止に関するグローバル方針](#)
- [現代の奴隷状態に関する声明](#)
- [人権方針](#)
- [環境、健康と安全に関する方針](#)
- [持続可能性と社会的責任のサイト](#)
- 国別の方針と情報については、[人事方針サイト](#)を参照してください。

ロンドンからの連絡

当社のロンドンオフィスからクリスティーナと名乗る人物から電子メールを受け取りましたが、彼女の電子メールアドレスは@gmail.comドメインのもので、クリスティーナは、一部の社員および関係者の生年月日などの個人情報共有を要求しました。私たちは大企業で働いているので社員を全員知っているわけではありませんが、このメールは他の社員から来ているので、対応する必要がありますか？

あなたは、相手の身元、要求の目的、および「知る必要性」を確認する必要があります。相手の身元、情報へのアクセス許可、およびコグニザントの電子メールアカウントのみに宛てて送信することを確認できる場合を除き、個人情報を（コグニザント内外の）誰にも提供してはなりません。どのように対応すればよいかわからない、あるいは確認の手段についてサポートが必要な場合は、上司に相談してください。個人情報の紛失や悪用に気付いたり、その疑いがある場合は、すぐに報告してください！データインシデントの可能性に気付いたら、直ちにCSIRTに報告することが極めて重要です。

原則4:

私たちは責任を果たす

ビジネスを倫理的に遂行するという私たちの約束には、プライバシーの尊重、情報の保護、資産の保護が含まれます。

プライバシーと機密性を尊重し、データの安全性を維持する

私たちは、クライアント、当社の社員および関係者、および第三者のために保持する機密情報と個人情報を尊重し、保護します。当社は、適用される法律に従って機密情報および個人情報を収集して処理し、全社方針に従って安全に維持するための措置を講じます。

会社とクライアントの資産を保護する

コグニザントは自社および顧客の技術を適切に使用します。顧客のシステムや技術を使用する場合、契約上の全ての義務を理解し遵守します。コグニザントの許容される利用に関する方針をよく読んでおいてください。

コグニザントは会社と顧客の資産を誤用、乱用、不正開示、盗難から保護します。物的財産、知的財産、機密情報（戦略計画および事業計画、財務、販売、または価格設定に関する情報、顧客リストとデータ、サプライヤーとのベンダー契約の条件、および販促計画など）を含む会社とクライアントの資産を誤用、乱用、および盗難から保護します。誤用には、職務上それを知る必要のない社員および関係者と機密情報を共有すること、許可なしに社外に機密情報を開示することが含まれます。

私たちは他者の知的財産権を尊重し、その機密情報を誤用しません。私たちは第三者のソフトウェア、データ、情報、グラフィックス、システムにアクセスまたは使用する前に、適切な承認を取得します。当社の社員および関係者は、以前の雇用主や競合他社からの機密情報を使用しません。

ニュースになっている出来事

ある記者が接触してきて、私が事務所で聞いた噂について尋ねました。誰もがそれについて話しているの、私は彼らを助け、私が知っていることを共有してもいいですよね？

許可されたスポークスパーソンだけが、会社に代わってメディアと通信できます。メディア関係者（レポーター、ブロガー、編集者など）から連絡があった場合は、それらの質問をコーポレートコミュニケーションチームに転送してください。電子メールを含む会社情報を決して開示しないでください。また、あなたが目にした社内の機密情報を誤って共有する可能性を常に意識してください。例えば、あなたは今、新聞や競合他社などの第三者を含むWhatsAppグループに参加しているかも知れません。そこで、まだ発表されていない差し迫った人事異動について触れたなら、あなたは社内の機密情報を共有したことになります。アクセスできる情報に注意し、機密情報を外部と共有しないように注意してください。全ての機密情報を社内から漏れないよう尽力していただきありがとうございます！

専門的かつ正確なコミュニケーション

コグニザントは職業上ふさわしい態度で適切に対応します。いかなる人物や企業に対しても恐喝、中傷、誹謗してはなりません。ソーシャルメディアを含め、あらゆる伝達や連絡には十分な注意を払ってください。

許可がない限り、会社に代わって報道機関と連絡したりソーシャルメディアを介して交流したりすることはありません。投資家向け広報責任者または対外コミュニケーション責任者の書面による許可がない限り、コグニザント、クライアント、競合他社、または当社の業界を代表して、メディアまたは投資コミュニティのメンバーと通信しないでください。

インサイダー取引の禁止

私たちはインサイダー取引に関与せず、防止する責任を負います。コグニザントでの業務を通じて、私たちはコグニザントまたは他社（既存および潜在顧客、パートナー、またはM&Aの対象企業）に関する重要な未公表の情報を入手することがあります。私たちには、私たちおよびその親族などの関係者がこうした重要な未公表の情報に基づいて取引を行ったり、「内部情報」を提供したり、他社にかかる情報へのアクセスを提供したりすることがないように徹底する義務があります。コグニザントの社員および関係者は、インサイダー取引方針ならびに関連する方針と手順を完全に理解して遵守する必要があります。

優れた財務スチュワードシップの実践

私たちは、会社のリソース、つまり時間、お金、人々および資産の良きスチュワードとなり、会社の最大の利益にかなう決定を行います。常に会社のリソースを賢く使用し、支出が全ての関連するコグニザントの方針と手順に沿っていることを確認してください。

私たちは帳簿、記録、勘定科目、および財務諸表に全ての取引を正確に記録して裏付けを取ります。社員および関係者は、完全、正確かつタイムリーな帳簿と記録を維持し、仕訳が正確に取引を反映するよう徹底します。これは、外部の利害関係者のために正確な財務諸表を準備するための前提条件です。コグニザントはまた、当社が接する政府機関を含むクライアントまたはサードパーティに対して、虚偽または不正確な要求を提出することを一切容認しません。タイムシート、旅費および経費報告書、その他の請求可能な費用を含め、全ての費用を適切な勘定科目とクライアント別に記録して分類し、全ての文書を注意深く見直して正確であることを確認してください。

機密性の高い財務データを第三者に対する開示から保護する。機密性の高い財務データは、知る必要がある人とだけ共有してください。コグニザントの機密性の高い財務データを第三者に送信する前に、必要な予防策を全て講じて、情報の機密性とセキュリティを確保してください。



責任をもって記録を管理する

私たちは合法的かつ責任をもってビジネス記録を保持し、処分します。

常に自身が所属する拠点やプロジェクトに適用される記録保持方針および関連する文書保管一覧表に従い、該当の文書保管一覧表の要件および/または訴訟ホールド通知を遵守して記録文書を処分しなくてはなりません。

重要なポイント

- 当社やクライアントの情報と資産を確実に保護する。
- 職業上ふさわしい態度で適切に対応する。
- コグニザントまたはクライアントの資産の誤用が疑われますか？ その場合は、CSIRT@cognizant.comに報告してください。

もっと詳しく知る

- [グローバルプライバシーポリシー](#)
- [社員および関係者のプライバシーに関する通知](#)
- [知的財産に関する方針](#)
- [利用規定](#)
- [記録保管方針](#)
- [外部コミュニケーションおよびソーシャルメディアに関する方針](#)
- [インサイダー取引に関する方針](#)
- [財務スチュワードシップ方針](#)



その他の考慮事項

的確な判断力

コグニザントの規範は、全ての社員および関係者が日々実践すべき的確な判断に取って代わるものではありません。社員および関係者の皆さんが倫理的な問題を取り扱っていると感じた場合、対処の方法を決定する前に次の質問を考慮してください。

- これは法律違反ですか？
- コグニザントのブランド、評判、財務実績、ビジネス関係に害を及ぼす可能性はありますか？
- その決定はコグニザントの他の社員および関係者、または社外の者にとってどのように見えるでしょうか？
- この決定について進んで責任を取りますか？
- これはコグニザントの規範と一致していますか？

政府の調査

本規範のいずれの規定も、社員および関係者の皆さんが法律違反を政府機関に報告すること、あるいは、政府の調査に協力することを妨げるものと解釈されるべきではありません。政府の調査について質問がある場合は、法務部にご連絡ください。

本規範の免除

本規範に定める方針の厳守が求められる一方で、特別な限定的状況において例外が認められる場合もあります。例外が適切であると判断した場合には、直属の上司に相談し、その許可を受けた場合には、最高倫理&コンプライアンス責任者の承認を得てください。

最高倫理&コンプライアンス責任者は、例外の申請およびその結果を全て記録し、当社の監査委員会に報告しています。

執行役または取締役が本規範のいずれの規定の免除を求める場合には、当社の法務顧問に相談してください。執行役または取締役に対する本規範の免除、あるいは、これらに適用される本規範の変更は、当社の取締役会においてのみ実施することが可能です。また、法律や証券市場の規制に基づき必要とされる場合には、その旨を開示しなくてはなりません。

ヘルプを得る、または 懸念の報告

コグニザントの社員および関係者は、本規範の違反の疑いを報告する責任を負います。コグニザントは、違反の疑いを報告した者が報復を受けないよう保護することに全力を尽くしています。

の報告に対する報復は禁止されています

コグニザントは、倫理&コンプライアンス上の懸念を誠意をもって報告した者が報復を受けないよう保護することに全力を尽くしています。禁じられた報復行為とは、不遵守の疑いを報告した者に対する解雇、左遷、停職、ハラスメント、脅迫、その他の差別行為を意味します。報復行為を行った者は、その国の法律が許容する範囲内で、解雇を含む懲罰処分の対象となります。自身または同僚が報復行為を受けていると知っているか疑われる場合、直ちに当社の最高倫理&コンプライアンス責任者に相談するか、倫理&コンプライアンス・ヘルプラインに連絡してください。

報告者に対する報復の禁止に関する詳しい情報については、当社の内部告発者および報復禁止に関する方針を参照してください。



本規範の違反の事実または疑いに気付いた場合には、以下に挙げる担当者宛に、または以下の手段を用いて報告を行ってください。

- コグニザント法務部のスタッフ
- 最高倫理&コンプライアンス責任者
電子メール: chiefcomplianceofficer@cognizant.com
郵便物: Cognizant Technology Solutions
Attn: Chief Ethics & Compliance Officer, Glenpointe Centre West,
300 Frank W. Burr Boulevard, Suite 36, 6th Floor, Teaneck, New Jersey 07666 USA
- コグニザントの倫理&コンプライアンス・ヘルプライン(本文書の 20ページ を参照)。

注意事項:

- 当社の規範の違反が疑われる場合は、必ず報告を行わなくてはなりません。
- 報告を行うことで、たとえ実際の違反が発見されなかった場合でも、報復を受けることは決してありません。
- 社員および関係者は、倫理またはコンプライアンスの問題の調査に全面的に協力する必要があります。

コグニザントの倫理&コンプライアンス・ヘルプラインへのアクセス

オンラインで倫理&コンプライアンス・ヘルプラインを利用する場合には、www.Cognizant.Com/compliance-helpline にアクセスし、指示に従って通報を行ってください。

電話で通報を行う場合には、自身の居住国に割り当てられた電話番号にかけて指示に従ってください。



その他の国：国別アクセスコード + 866 824 4897

その他のAT&T Directアクセスコードは、<https://www.business.att.com/collateral/access.html>

コグニザントの倫理&コンプライアンス・ヘルプラインは第三者プロバイダーが運営するもので、電話またはインターネットを通じて24時間年中無休で利用することができます。違反の疑いや懸念の報告は、その国の法律が許容する範囲内で、匿名で行うことができます。しかし、追加の情報を得る必要がある場合のために、報告を行う際に名前を名乗ることを検討してください。報告者の身元情報は、法律で許容される範囲で可能な限り厳重な秘密扱いとなります。社員および関係者の皆さんがアドバイスを求める場合には、倫理&コンプライアンス・ヘルプラインの質問マネージャーに問い合わせてください。



コグニザント (Nasdaq-100: CTSH) は、最新のビジネスを創り出しています。テクノロジーの最新化、プロセスの再構築、エクスペリエンスの変革を実現することで、移り変わりの激しい現代社会でお客様が優位に立てるようサポートします。お客様ともに、日常生活を向上し続けています。詳しくは、www.cognizant.com または [@cognizant](https://twitter.com/cognizant) をご覧ください。

世界本部

300 Frank W. Burr Blvd.
Suite 36, 6th Floor
Teaneck, NJ 07666 USA
電話番号: +1 201 801 0233
Fax: +1 201 801 0243
フリーダイヤル: +1 888 937 3277

欧州本部

1 Kingdom Street
Paddington Central
London W2 6BD England
電話番号: +44 (0) 20 7297 7600
Fax: +44 (0) 20 7121 0102

インド本部

インド本部
#5/535 Old Mahabalipuram Road
Okkiyam Pettai, Thoraiyakkam
Chennai, 600 096 India
電話番号: +91 (0) 44 4209 6000
Fax: +91 (0) 44 4209 6060

APAC本部

1 Changi Business Park Crescent
Plaza 8@CBP # 07-04/05/06
Tower A, Singapore 486025
電話番号: +65 6812 4051
Fax: +65 6324 4051

© Copyright 2022, Cognizant. All rights reserved. 本書のいかなる部分も、コグニザントの書面による明示的な許可なしに、電子的、機械的、複写、記録、その他のいかなる形式または手段によっても、複製、検索システムへの保存、転送を行うことはできません。本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあります。本書に記載されている他のすべての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。